



(お知らせ)

27. 10. 9

統合幕僚監部

河野統合幕僚長とミデンドルフ・オランダ国軍参謀総長の懇談結果について

- 1 我が国を訪問中のミデンドルフ・オランダ国軍参謀総長は、10月9日、防衛省を公式訪問し、河野統合幕僚長との意見交換等を実施した。オランダ国軍参謀総長の日本訪問は初めてである。
- 2 本で行われた河野統合幕僚長とミデンドルフ参謀総長との会談において、地域の平和と安定の確保が国際社会の繁栄の達成のために不可欠であるとの共通の認識の下、平成16年イラク人道復興支援活動の際、イラク南部サマーワ県に派遣された陸上自衛隊部隊をオランダ軍が支援した実績に言及しつつ、今後も自衛隊とオランダ軍が国連平和維持活動に関する各種取り組みを通じて協力していくことで一致した。
- 3 河野統幕長は、自衛隊創設以来、我が国が初めて多国籍部隊である第151連合任務部隊（CTF151）司令官を派遣したところ、オランダ海軍からCTF151司令部へ幕僚要員1名（海軍中佐）の派遣を受け、完遂できたことに謝意を述べ、今後も両国がソマリア沖の海賊対処活動を含む地域の平和と安定のために引き続き両国が緊密に協力していくことを確認した。
- 4 ミデンドルフ参謀総長は、両国が2国間及び多国間の枠組みにおいて、防衛協力・交流関係が着実に進展していることを歓迎し、今後も特に国連平和維持活動及び海賊対処活動の分野において両国の防衛協力を推進していくことを確認した。